

職員による自己評価

A環境面

活動スペースは児童の人数に対して適切だが、これから児童の年齢も幅広くなる為、対応するための人員配置が必要。

B児童への支援内容

支援前の打ち合わせ、支援後の共有したい点を職員間で確認する時間が必要。

C関係機関との連携

協議会等の参加や、学校や関係機関とも連絡を取り、情報共有できている。

D保護者への説明責任・信頼関係

保護者会等はないが、面談時や送迎時、HUG等で随時情報の共有を行っている。参観の場を設けることによって児童の様子や支援内容を実際に見て頂け、要望や意見も伺えた。

E非常時の対応

BCP 作成や虐待防止研修、避難訓練を行っている。

保護者による評価

A環境面

活動スペースは十分に確保できているが、運動をする際にやや狭いとの意見もあった。

B児童への支援内容

プログラムや計画については適切に提供できているが、他施設や障害のない子どもと活動する機会は少ない。時間内で課題があり過ぎて落ち着いて取り組めないのでは。短時間の休憩が必要ではないか、との意見もあった。

C事業所からの情報発信

支援の内容や児童の状況についての共有理解はできている。父母会や保護者会などが無いため、今年度は参観の場を設けたが好評だった。要望に対して迅速に対応できていない部分もあった。

D非常対応

緊急対応時や災害時の対応訓練を行っており、保護者にも周知・説明がされている。

F満足度

児童は通所を楽しみにしており、事業所の支援に満足している。

事業所内での分析

【共通点】

スペースなどの環境面、支援内容については適切であり、基本的には児童の状況や情報も共有できている。保護者会などが無いため、保護者間の情報共有の場の機会が無い。また、他施設の児童との関わりが少ない。

【相違点】

短い時間内で課題があり過ぎるとの指摘があった。
短時間の休憩があった方が頑張れるとの指摘もあり。
一部苦情や要望について周知、説明が迅速に対応できていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

おおむね支援の内容や取り組みに関して理解を得られており、情報も共有できており現状に満足いただいている。参観や面談等でご意見や要望などを聞きやすい環境を作っている。

事業所の改善点

過去にも何度か指摘があるが、保護者同士で意見交換できる場が無い。
苦情があった場合に職員間で共有し、迅速に対応することが必要。
これから低学年の児童を受け入れるにあたって、児童の障害に応じた人員の確保が必要。

事業所の改善への取り組み

要望が多ければ、保護者同士の意見交換の場を設けることを検討する。
定期的に事業所より保護者へ情報の発信は行っているが、随時連絡を取り合い普段よりコミュニケーションが取りやすい関係を構築する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

児童も通所を楽しみにしており、保護者も支援内容に満足頂いているという回答が多かった。
今後も都度面談などの機会を設け、相互に情報の共有をしていくことが児童のより良い支援につながると思う。

事業所名 もみじのて NEXT

担当者 福島 ゆみえ